

2009年12月24日  
IR3S/WISPJ マクロ班・主査  
松岡 俊二

## IR3S・WISPJ マクロ班・ジャーナリズム班・第8回合同研究会

日時：2009年12月21日（水）17:00-20:00

会場：19号館・アジア太平洋研究科・7階・710

出席（敬称略）：松岡（主査）、吉田、太田、瀬川、若田部、黒川、中村、栗田、上野、  
長岡

欠席（敬称略）：なし。

### 1. 2010年1月28日（木）開催予定のWISPJシンポについて

- (1) S1 および S2 の内容面における関係者との調整は、それぞれのモデレーターを中心に  
行う。
- (2) 宣伝：ポスター、チラシ（12/28 頃）、HP、ML
- (3) 当日資料は 1/20（水）ㄹ、関係者への事務的案内は年内に行う。
- (4) 1/28 の当日について：  
昼食会について：堀口、武内、吉田、松岡、パネリストなど 16 名ほど  
（大隈タワー・レストラン「西北の風」）

### 2. 最終年度の「研究まとめ」について

#### (1) 基本方針

IR3S/WISPJ マクロ班+ジャーナリズム班の3年間の研究活動の「まとめ」として『気候政策の政治経済学とジャーナリズムの役割』（仮）といった報告書を、2010年3月末にまとめ、その後のリライトを経て、2010年夏前ごろには入稿、2010年末ごろには書籍として出版する。

第8回研究会では、太田、中村、黒川担当分の報告があった。

#### (2) 目次案

##### (総論)

##### ・松岡：①気候政策の政治経済学：気候政策の設計と選択（全体の総論）

全体の総論として、気候変動問題および気候政策を政治経済学的観点から論じる基本的な視点や方法を論じる。気候変動問題の歴史的推移、気候変動問題の全体的構造、気候変動の他の環境問題と比較した特徴などを論じる。また、気候政策の設計と選択における評価基準や考え方をスターン・レビューや IPCC/AR4 などの主要な報告の分析から明らかにする。

##### (第1部：国際関係)

##### ・松岡：②国際気候ガバナンスにおける先進国と途上国（松岡+太田+中村の連携）

国際環境ガバナンスが有効に機能する要因や条件という視点から、国際気候ガバナンスの分析を行う。特に先進国と途上国という非常に大きな格差をかかえる国際関係の中で、「共通だが差異ある責任」をどのように具体化すればよいの

かを考える。

- ・太田：気候変動問題と多国間主義：京都からコペンハーゲン合意？
- ・中村：気候レジームにおける国際アクターとしての EU：排出量取引制度（ETS）形成の意義

（第 2 部：日本の政策過程と制度設計）

- ・吉田：気候政策の行政過程（主に国内事情）の研究（吉田＋若田部の連携）
- ・若田部：気候政策の政策決定過程の分析？
- ・黒川：CO2 削減のための法的仕組み導入の国際比較

（第 3 部：ジャーナリズムの役割）

- ・瀬川：①気候政策とジャーナリズムの役割（実態と今後の方向）  
②新聞の社説分析（日本とアメリカ）
- ・栗田：気候変動報道と市民意識の形成

（3）研究会における報告

12/21：松岡、太田、中村、黒川

1/25：吉田、若田部

2 月下旬：瀬川、栗田

### 3. 次年度以降の WISPJ のあり方について

（1）今後の IR3S について

- ・吉田：10/9「平成 21 年度第 1 回協力機関打ち合わせ」結果について
- ・10/23：堀口副総長と武内・副機構長、住・TIGS 統括ディレクターとの懇談（at モンゴル）
- ・12/11：堀口副総長との打合せ（⇒延期）
- ・白井総長・堀口副総長との懇談：12/25（金）11:30（10:30：堀口副総長との打合せ）

1) 現在の早稲田大学サステナビリティ学研究推進本部を実態に合わせて継承発展させる。政経、環境エネ（理工）、アジ太、国際教養、社会学などから運営委員を出す。

2) IR3S の後継組織・一般社団法人サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアムへの早稲田大学として参加する。

（2）研究院の重点領域研究の募集について（科研費申請をベースとして）

早稲田大学・研究院の重点領域研究の第 2 期募集は「持続性のための政策・産業・ジャーナリズム」として 2010 年 1 月下旬に公募開始、2010 年 6 月研究事業スタートの予定。科研・基盤 A をベースに申請する。

### 4. HP の更新について

インタビュー調査まとめ（吉田先生・作成済み）

モンゴル国際会議記録

マクロ班研究会記録

マクロ班 2008 年度報告書

## 5. インタビュー調査について

### (1) インタビュー調査について

- ・毎日新聞・田中記者：2009年4月22日（水）実施  
「記録」5/30完了
- ・環境省・森谷審議官：2009年5月15日（木）実施  
「記録」7/25完了
- ・経産省：有馬審議官：2009年6月17日（水）実施  
「記録」10/15完了
- ・日経：塩谷論説委員：2009年7月23日（木）実施  
「記録」10/1 塩谷さんへ送付済（塩谷さんの処理待ち）

### (2) 今後の調査計画について

- ・民主党政権の成立により、日本の気候政策も大きく変化している。かかる「政権交代と気候政策の変革」の過程における「政治的意思決定とジャーナリズム」をめぐるインタビュー調査を検討する。

## 6. その他

### (1) 1/8（金）特別研究会

日時：20010年1月8日（金）17:00-18:30

会場：早稲田大学 19号館 5階 501

司会：松岡俊二（アジア太平洋研究科）

報告：Dr James Prest（Lecturer, Australian Centre for Environmental Law & the Centre for Climate Law and Policy, ANU College of Law, The Australian National University）

「オーストラリアの気候政策の現状と課題」

コメンテーター：黒川哲志（社会科学学術院）

### (2) 次回の研究会（第9回合同研究会）

1/25（月）17:00-19:00、19号館7階・応接室

- ・今年度のまとめに向けた研究報告（吉田先生、若田部先生）
  - ・シンポ準備
  - ・WISPJの後継体制について
  - ・その他